

議 事 録				記載者：谷内 真理子		
開催日時	2019年7月22日 17:30 ～ 19:00					
開催場所	珠光会法人本部 会議室 (東京都千代田区紀尾井町4-1 新紀尾井町ビル3F)					
議題	第21回 ICVS 認定再生医療等委員会					
該当性	委員の氏名、所属 (★: 委員長)	性別	設置者との 利害関係	審査対象との 利害関係	出欠	審議案件ごとの審査等業務 への関与に関する状況
a-1	蓮見 賢一郎★ (医療法人社団珠光会理事長、 医療法人社団 ICVS 東京クリニ ック院長)	男	本人	有 (①～⑤)	○	審査については不参加 (①の 管理者のため。また、①～ ⑤の細胞培養加工施設の施設 管理者のため)
a-1	梨井 康 (国立成育医療研究センター研 究所 RI 管理室長・移植免疫研 究室長)	男	無	無	○	全ての審査に参加
a-2	橋本 葉子 (東京女子医科大学名誉教授)	女	無	無	○	全ての審査に参加
a-2	植田 候平 (医療法人社団珠光会 医師)	男	有	有 (②)	○	②の審査については不参加 (②に所属するため)
B	石黒 康 (石黒法律事務所 弁護士)	男	有	無	○	全ての審査に参加
C	茂呂 信市郎	男	無	無	○	全ての審査に参加
C	本橋 敏子	女	無	無	○	全ての審査に参加
※該当性 a-1：再生医療等の専門家、a-2：医師、b：弁護士、c：一般の立場の者						
評価書を提出した 技術専門員の氏名	藤野 真之 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構 戦略推進部 感染症研究課)					
再生医療等の提供 を行う医療機関の 名称	①医療法人社団 <b>ICVS</b> 東京クリニック (東京) ②医療法人社団珠光会 <b>BSL-48</b> 珠光会 <b>Clinic</b> (東京) ③沼田医院 (青森) ④医療法人仁善会 田中クリニック (大阪) ⑤医療法人社団寿会 永山医院 (広島)					
再生医療等提供計 画を提出した医療 機関の管理者等の 氏名	① 蓮見 賢一郎 ② 小林 秀紀 ③ 沼田 知明 ④ 田中 善 ⑤ 汐見 千寿					
再生医療等の名称 および計画/受付番 号	① <b>Pre-HITV 療法 (PC3170040)</b> ② <b>NK 細胞療法 (PC3170076)</b> 、 <b>γδT 細胞療 (PC3170077)</b> 、 <b>LAK 細胞療法 (PC3170078)</b> ③ <b>NK 細胞療法 (PC2180004)</b> ④ <b>NK 細胞療法 (PC5160024)</b> 、 <b>HITV 療法 (PC5160025)</b> ⑤ <b>HITV 療法 (PC6160008)</b>					
再生医療等提供 に関する申請書 を受け取った年月 日	① <b>Pre-HITV 療法 (PC3170040) 2019年7月3日</b> ② <b>NK 細胞療法 (PC3170076) 2019年6月17日</b> 、 <b>γδT 細胞療 (PC3170077) 2019年6月17日</b> 、 <b>LAK 細胞療法 (PC3170078) 2019年6月17日</b> ③ <b>NK 細胞療法 (PC2180004) 2019年6月3日</b> ④ <b>NK 細胞療法 (PC5160024) 2019年6月26日</b> 、 <b>HITV 療法 (PC5160025) 2019年6月29日</b> ⑤ <b>HITV 療法 (PC6160008) 2019年6月29日</b>					
議事の対象となっ た再生医療等の申 請の概要	① <b>Pre-HITV 療法 (PC3170040)</b> ：再生医療等提供状況定期報告 ② <b>NK 細胞療法 (PC3170076)</b> ：再生医療等提供状況定期報告 <b>γδT 細胞療法 (PC3170077)</b> ：再生医療等提供状況定期報告					

	<p><b>LAK 細胞療法 (PC3170078)</b> : 再生医療等提供状況定期報告</p> <p>③ <b>NK 細胞療法 (PC2180004)</b> : 再生医療等提供状況定期報告</p> <p>④ <b>NK 細胞療法 (PC5160024)</b> : 再生医療等提供状況定期報告</p> <p><b>HITV 療法 (PC5160025)</b> : 再生医療等提供状況定期報告</p> <p>⑤ <b>HITV 療法 (PC6160008)</b> : 再生医療等提供状況定期報告</p>
<p>議事の内容 (質疑応答など)</p>	<p>1. <b>ICVS 特定認定再生医療等委員会の設立に関する申請状況ならびに特定認定再生医療等委員会の委員および技術専門員の略歴について</b>  第二種再生医療等技術の提供に該当する案件の審査を行う、<b>ICVS 特定認定再生医療等委員会の設立の申請</b>をしている（5月中旬）が、7月22日現在で未受理である状況を報告した。  委員としては、<b>ICVS 認定再生医療等委員会の委員全員に加えて</b>、川上 祐美 先生（上智大学グリーンケア研究所）、劉 効蘭 先生（一般社団法人国際抗老化再生医療学会）、木田 泰之先生（産業技術総合研究所）、渡部 柳子 さん（米国法人蓮見国際研究財団東京リサーチセンター）、平野 啓 さん（医療法人社団珠光会細胞療法センター）を予定している旨をお伝えした。  また、技術専門員としては、藤野 真之先生（国立研究開発法人日本医療研究開発機構 戦略推進部 感染症研究課）の他に、二木 康夫先生（慶応義塾大学病院 整形外科）ならびに高橋 英二先生（西埼玉中央病院 泌尿器科）を予定している旨をお伝えした。  質問：審議の予定となっている案件はどのようなものか？  担当者：次の3件が予定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・膝軟骨疾患の治療</li> <li>・尿路狭窄の治療</li> <li>・間葉系幹細胞を使用した繊維化抑制の治療</li> </ul> <p>2. 医療法人社団 <b>ICVS 東京クリニックの Pre-HITV 療法</b>の提供状況定期報告の審査について  （なお、蓮見委員は当該医療機関の管理者であるため、説明にとどまり、審議には参加していない。）</p> <p>再生医療等を行う医師より、患者数（21名）、細胞の延べの投与件数（148件）、有害事象の発生（2件）状況とその対応、予後経過、および治療効果の報告を受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定細胞加工物の投与に関連する疾病等の発生は確認されなかった。また、投与に由来する重大な副作用の検出もなかった。この結果、安全性に問題はないと判断する旨、再生医療等を行う医師により報告された。</li> <li>・全21名の患者のうち、4名の健常人に対してがんの発症予防目的、残りの17名の元がん患者に対してがんの再発予防目的で細胞の投与を行った。PET-CT や血液検査（腫瘍マーカー）等で確認する限り、現在のところ、がんの発症/再発の兆候は見られていないことから、暫定的に、本治療に一定の効果があると判断し、科学的妥当性については問題ないと判断する旨、再生医療等を行う医師により報告された。また、元がん患者については、術後5年をめぐりにフォローアップを続け、再発の有無を確認し、引き続き、本治療法の妥当性について評価検討する予定であると、再生医療等を行う医師により報告された。</li> </ul> <p>質問；有害事象リストに載っている、カルテナンバー1791の患者のケースについては、胸圧迫感等があるが、なぜ生じたのか。  委員；どのケースにおいても出血はある。原因としては、おそらく、患者さんの性格の問題で、不安感や、麻酔がしっかり効いていないと知覚神経の過敏な方もいる。そういうことによるケース、手技上の問題だったと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術専門員の提出した評価書の内容について、確認をした。</li> </ul> <p>委員会で審査を行った結果、再生医療等を行う医師の判断に問題はないと、全員一致で医師の判断（報告）に承認がなされ、当該再生医療等提供医療機関による定期報告</p>

議論の内容  
(質疑応答など)

を「適」とであると判断した。

**3. 医療法人社団珠光会 BSL-48 珠光会 Clinic の NK 細胞療法の提供状況定期報告の審査について**

(なお、蓮見委員ならびに植田委員は当該医療機関と利害関係があるため、説明にとどまり、審議には参加していない。)

**NK 細胞療法**について、再生医療等を行う医師より、患者数 (3 名)、細胞の延べの投与件数 (10 件)、有害事象の発生状況、および治療効果の報告を受けた。

- ・有害事象の発生は確認されなかった。
- ・本細胞療法について、これまでに論文等で報告されている通り、重大な副作用等は見られなかった。また本細胞療法の提供が原因であると考えられる疾病等の発生も報告されていない。これらのことから、本細胞療法の安全性については問題がないと考えられる旨、再生医療等を行う医師から報告された。
- ・乳がん術後標準治療を一切行わず、再発予防目的で本細胞療法を行っているが、再発兆候が全くないこと、また、化学療法が副作用にて中止となった術後再発症例において、本細胞療法のみで病状の進展を抑制できていることから、科学的妥当性ありと考えられる旨、再生医療等を行う医師から報告された。

なお、治療効果リストにある、カルテナンバー 180071 の患者のケースについて、治療結果が未評価であるのは、患者さんが他の病院に入院されたので、**珠光会 Clinic** に来院がなく、ゆえに評価なしになっている旨の説明があった。

質問：末梢血からとった血球を精製して NK 細胞を増やしていると思いますが、NK 細胞のピュアリティ (純度) はどれくらいですか？

回答者：NK 細胞は約 6～7 割です。3～4 割は T 細胞がまざっています。ピュアリティ (純度) を高めようと思うと、費用がかかるうえ、T 細胞は悪いものではないので、純度については 6～7 割で OK にしている。

- ・技術専門員の提出した評価書の内容について、確認をした。

これらをふまえて、再生医療等を行う医師の判断について承認するか諮ったところ、全員一致で再生医療等を行う医師の判断 (報告) に承認がなされ、当該再生医療等提供医療機関による定期報告を「適」とであると判断した。

**4. 医療法人社団珠光会 BSL-48 珠光会 Clinic の LAK 細胞療法の提供状況定期報告の審査について**

(なお、蓮見委員ならびに植田委員は当該医療機関と利害関係があるため、説明にとどまり、審議には参加していない。)

**LAK 細胞療法**について、再生医療等を行う医師より、患者数 (3 名)、細胞の延べの投与件数 (21 件)、有害事象の発生状況、および治療効果の報告を受けた。

- ・有害事象の発生は確認されなかった。
- ・本細胞療法について、これまでに論文等で報告されている通り、重大な副作用等は見られなかった。また本細胞療法の提供が原因であると考えられる疾病等の発生も報告されていない。これらのことから、本細胞療法の安全性については問題がないと考えられる旨、再生医療等を行う医師から報告された。
- ・化学療法無効の術後再発症例については、本細胞療法開始時の病状が極めて厳しく、3 回終了後お亡くなりになったが、術後再発予防目的で本細胞療法を行っている 2 名については、再発の兆候もなく、順調に経過していることから本細胞療法の科学的妥当性の評価については、科学的妥当性ありと考えられる旨、再生医療等を行う医師から報告があった。

委員：治療効果リストにある、カルテナンバー 180247 の患者のケースについて

議論の内容  
(質疑応答など)

は、評価1は厳しすぎるのではないかと評価なし、で、※印で補足などで、良かったのではないかと。このような、特殊なケース、つまり本治療の非適用（本治療の選択基準は満たすが効果が十分に期待できないケースをさす）であるが患者の希望により治療を施すケースは、他のケースとわけてコメントした方がいいと思う。

質問：カルテナンバー180247の患者のケースのように、もともと治療の効果がほとんど見込めないような場合は、どう考えればいいか？

委員：やはり、適応と非適応はきっちりわかる。非適用になった場合には、基本は治療の申込を受けない。本人やご家族から強い希望があった場合には、同意書をとる、等が必要である。

- ・技術専門員の提出した評価書の内容について、確認をした。

これらをふまえて、再生医療等を行う医師の判断について承認するか諮ったところ、全員一致で再生医療等を行う医師の判断（報告）に承認がなされ、当該再生医療等提供医療機関による定期報告を「適」であると判断した。

5. 医療法人社団珠光会 BSL-48 珠光会 Clinic の  $\gamma\delta T$  細胞療法の提供状況定期報告について

$\gamma\delta T$  細胞療法については、この1年間で投与は行われなかった旨、再生医療等を行う医師から報告があったため、当該再生医療等提供医療機関による定期報告を「適」と判断した。

6. 沼田医院（青森）の NK 細胞療法の提供状況定期報告の審査について

（なお、蓮見委員は本提供計画の細胞培養加工施設の施設管理者であるため、説明にとどまり、審議には参加していない。）

NK 細胞療法について、再生医療等を行う医師より、患者数（1名）、細胞の延べの投与件数（4件）、有害事象の発生状況、および治療効果の報告を受けた。

- ・有害事象の発生は確認されなかった。
- ・再生医療等の安全性についての評価については、実施時の有害事象発生なく安全上問題なかった旨、再生医療等を行う医師から報告された。
- ・再生医療等の科学的妥当性についての評価については、患者から提供の血液を培養し、再投与したことにより、一定の免疫効果があった旨、再生医療等を行う医師から報告された。

報告にあたっては、医師から、PIVKA2（肝細胞癌で陽性率が高く、肝細胞癌のスクリーニングや診断の補助に用いられる）、AFP（肝細胞癌で陽性率が高く、治療経過観察に用いられる）、Cr（クレアチニン：腎臓の機能の低下とともに値が高くなる）、T-bil（総ビリルビン：肝臓や胆のう・胆道に異常があると増加）D-bil（直接ビリルビン；肝臓や胆のう・胆道に異常があると増加） $\gamma$ GTP（肝臓の酵素。幅広い肝・胆道系疾患で高値をとる）の、数値のデータが添付資料として提出された。これらを確認した。また、技術専門員の提出した評価書（対象疾患についての技術評価書ならびに細胞の培養加工に関する評価書）の内容について、確認をした。

委員：血液データはあまり良くないけれども、その原因は（癌のせいというより）肝硬変がすすんでいるから、ということもあると思う。データ中、AFPがあがっていないことからすると（肝臓の癌が成長するとAFPがあがってしまうものなので）SD、進展抑制に効果あり、と評価できると思う。

質問：NK 細胞療法が効きやすい癌、効きにくい癌というのはあるのでしょうか？

委員：肝臓癌、胆管癌、胆嚢癌、すい臓癌は効きにくい。

質問：LAK 細胞療法と NK 細胞療法をわけてらしゃるが、どうわけているのか？

蓮見委員：当院で昔からやっているのは LAK 細胞療法でして、LAK のなかにはいろんな T 細胞がはいっていて、NK の含有率が一番多い。そのあと NK 療法ができた

議論の内容  
(質疑応答など)

ので、あまり詳しくきちっと定義づけられてはおりません。適用については、ほぼ同じです。

質問：青森で、他に NK 細胞療法などの細胞療法をやっている病院はあるのでしょうか？

委員：あまりないと思います。治療法が他になくて、では NK 療法はどうか、と沼田先生からの話があって、というのが発端です。

質問：培養方法とかはどうなっているんですか？

委員：珠光会のものと同じです。

質問：細胞もこちら（珠光会）から送っているんですか？

委員：培養もこちら（珠光会）でやって、送っています。

質問：医師からの報告を適切な報告とご承認されますでしょうか？

委員：はい。（全員）

質問：以上をふまえて、本件について、継続の適否をご判断頂きたいと思いますが、いかがでしょうか？

委員：継続につき適と思います。（全員）

上記のとおり、当該再生医療等の安全性・科学的妥当性に問題なしとする、医師の報告は詳細なデータに基づいた、適切な報告であり、当該再生医療等の継続は「適」であると全員一致で判断した。

#### 7. 田中クリニック(大阪)の HITV 療法の提供状況定期報告の審査について

(なお、蓮見委員は本提供計画の細胞培養加工施設の施設管理者であるため、説明にとどまり、審議には参加していない。)

再生医療等を行う医師より、患者数（1名）、細胞の延べの投与件数（8件）、有害事象の発生状況、および治療効果の報告を受けた。

- ・有害事象の発生は確認されなかった。
- ・特定細胞加工物の投与に関連する疾病等の発生は確認されず、また、投与に由来する重大な副作用の検出もなかったため、再生医療等の安全性についての評価については、安全性に問題はないと考える旨の報告が、再生医療等を行う医師からなされた。
- ・再生医療等の科学的妥当性の評価については、  
「今回の報告期間中において、患者1名に対して肺癌の治療を目的として樹状細胞及び活性化リンパ球の投与を行った。なお、当該患者は京大病院にて治療を受けており、そちらでの治療と平行して本クリニックにおいて細胞療法を受けている。2019年1月には、京大病院でのCT・MRI検査により、PR（部分寛解）との評価を受けたが、同年5月のPET-CTでは、PD（増悪）と評価された。以上のことから、本件については、期待した治療効果が得られなかった。本治療法の科学的妥当性の評価については、現時点では症例数が少なく、正確な判断ができないため、引き続き、治療データを積み重ねて検討を続けていく。なお、昨年の治療評価では、CR（完全寛解）が1件、PDが1件（今回の報告対象者）であった。」という報告が、再生医療等を行う医師からなされた。
- ・技術専門員の提出した評価書の内容について、確認をした。

質問：今回（カルテナンバー1070の患者）の経緯は？

委員：もともとは **ICVS** 東京クリニックの患者さんで、（東京にくるのが）経済的に大変なので、田中クリニックの患者さんになっている。最初から、プロトコル外のケースで、患者さん自身がこうやりたい、ということに対して、我々（**ICVS** 東京クリニックおよび田中クリニック）が協力した。最終的に5月に悪くなっているとのことですが、この直前に京大病院でオペシーボをいれたことでPDになっている症例です。オペシーボをいれたことによる合併症です。

議論の内容  
(質疑応答など)

質問：患者さんはいろんな病院のいろんな治療法を受けたいという、治療の結果というか効果がわからなくなってしまうわけですが、どうなのでしょうね。

委員：患者さんが（やりたいという治療法を）いろいろ試すのはいいと思うんですね、オプジーボを使うというのは他の治療法がないときに使う、緩和ケアの一手手前の治療法で、私どもの他の患者さんでもその病院（京大病院）で大量のオプジーボを投与された患者さんが何人もいますけど、半年から1年で再発するんです。それが結構でてるんで、それがなぜオプジーボを使った結果再発になるのかはわからないんですけど、きっと何かの因果関係があるんでしょうけど、患者さんは京大の先生が主治医ですから、薦められれば、それを受けてみたいと思うのは当然でして、とくに京大は本庶先生がノーベル賞をとっていますから、そういった意味では、治療が間違っているとかそういう意味ではなくて、やはりそういうリスクをかかえて治療をされて、悪い結果になった、それはしょうがないと思うんですよ、主治医の先生もはっきりわかっているから。

委員：厚生局とも相談して、評価の仕方を決めた方がよいのは、せっかくのHITV療法でも（他の治療法とまざってしまうと）評価がおかしくなってしまう。どういった線をひくかは難しいにしても、なにか工夫した方がいいと思う。

委員：私からみると、このケースはドロップアウトなんです。ただ患者さんはドロップアウトなんですけど、患者さんは樹状細胞療法をやりたい、自分のやりたいやり方でやりたいということ。

質問：なるほど。そうすると、お医者さんとしても、こうしたらダメとはいいいくいですね。

委員：もちろん、こちらとしても、こうした方がいいですよ、ということはいえますけれども、最終的な結論を出して決めるのは、患者さんご自身なので、それには私どもも従います。

これらをふまえて、再生医療等を行う医師の判断について承認するか諮ったところ、全員一致で再生医療等を行う医師の判断（報告）に承認がなされ、当該再生医療等提供医療機関による定期報告を「適」であると判断した。なお、今後、プロトコル外のケースについては、評価をどうするのか、ということが検討課題になる旨の認識を委員全員で共有した。

#### 8. 田中クリニックのNK細胞療法の提供状況定期報告について

NK細胞療法については、この1年間で投与は行われなかった旨、再生医療等を行う医師から報告があったため、当該再生医療等提供医療機関による定期報告を「適」であると判断した。

#### 9. 永田医院（広島）のHITV細胞療法の提供状況定期報告の審査について

（なお、蓮見委員は本提供計画の細胞培養加工施設の施設管理者であるため、説明にとどまり、審議には参加していない。）

再生医療等を行う医師より、患者数（1名）、細胞の延べの投与件数（8件）、有害事象の発生状況、および治療効果の報告を受けた。

- ・有害事象の発生は確認されなかった。
- ・再生医療等の安全性についての評価については、特定細胞加工物の投与に関連する疾病等の発生は確認されず、また、投与に由来する重大な副作用の検出もなかったため、安全性に問題はないと考える旨の報告が、再生医療等を行う医師からなされた。
- ・再生医療等の科学的妥当性についての評価については、「今回の報告対象である当該患者に対しては、2018年6月に患者より別の医療施設での治療を主軸とする旨の希望があったが、患者の希望により細胞の投与を継続して実施している。別の医療機関でPET-CTなどの検査は行っているが、当院での評価は料金がかかるため希望しないとのこと。詳細な実データが得られないが、患者からの聞き取り情報をもとに、病状および治療効果等のモニタリングを行っている。本件に関する科学的妥当性の評価については、実データ不足に加え、本治療に加えて別の治療を平行して行っているため治療効果に対する影響の正確な評価が難しい。ただし、昨年までの別の患者に対する治療

	<p>結果では、効果が見られる例が複数確認されていることから、本治療法は科学的妥当性があるものとする。」という報告が、再生医療等を行う医師からなされた。また、技術専門員の提出した評価書（対象疾患についての技術評価書ならびに細胞の培養加工に関する評価書）の内容について、確認をした。</p> <p>質問：今回（カルテナンバー356の患者）の経緯は？  回答者：このケースも東京（ICVS 東京クリニック）まで来るのが、遠いので地元の病院で治療を受けたいというケースです。資料にも記載のとおり、患者さんの実データがクリニック（永山医院）になく、広島県立病院にあるとのこと。2009年初診です。  委員：この人は肺がんですけど、分子標的薬がよく効く人だったんですね。遺伝子変異があるんですけど、それにきく薬剤が次から次に開発されて、それで10年もついているという患者さんです。経済的な問題がありましてこちら（東京）での治療は否定されて、細胞投与を静脈でうけている方です。10年経って、まだ存命中なので、非常にいい結果だと思います。  質問：SD（現状維持）できていると？  委員：結局、分子標的薬の有効性と樹状細胞の有効性が両立している、ということです。</p> <p>質問：医師からの報告を適切な報告とご承認されますでしょうか？  委員：はい。（全員）</p> <p>質問：以上をふまえて、本件について、継続の適否をご判断頂きたいと思いますが、いかがでしょうか？  委員：継続につき適と思います。（全員）</p> <p>上記のとおり、当該再生医療等の安全性・科学的妥当性に問題なしとする、医師の報告は、適切な報告であると承認された。それをふまえて、当該再生医療等の継続は「適」であるか諮ったところ、当該再生医療等の継続は「適」であると全員一致で判断した。</p>
<p>結論及びその理由  （出席委員の過半数の同意を得た意見を委員会の結論とした場合には、賛成・反対・棄権の数）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 医療法人社団 ICVS 東京クリニック(東京)の Pre-HITV 療法(PC3170040)の再生医療等提供状況定期報告について  適（全員一致）（審査の結果、提供する再生医療等の安全性および科学的妥当性に、問題はないと結論づけられたため。）</li> <li>② 医療法人社団珠光会 BSL-48 珠光会 Clinic(東京)の NK 細胞療法(PC3170076)の再生医療等提供状況定期報告について  適（全員一致）（審査の結果、提供する再生医療等の安全性および科学的妥当性に、問題はないと結論づけられたため。）</li> <li>③ 医療法人社団珠光会 BSL-48 珠光会 Clinic(東京)の <math>\gamma</math>DT 細胞療法(PC3170077)の再生医療等提供状況定期報告について  適（全員一致）（審査の結果、提供する再生医療等の安全性および科学的妥当性に、問題はないと結論づけられたため。）</li> <li>④ 医療法人社団珠光会 BSL-48 珠光会 Clinic(東京)の LAK 細胞療法(PC3170078)の再生医療等提供状況定期報告について  適（全員一致）（審査の結果、提供する再生医療等の安全性および科学的妥当性に、問題はないと結論づけられたため。）</li> <li>⑤ 沼田医院(青森)の NK 細胞療法(PC2180004)再生医療等提供状況定期報告について  当該再生医療等の継続を適とする（全員一致）（当該再生医療等の安全性について問題ないと結論づけた医師の報告は、詳細なデータ等に基づいており、適切に報告がされていたため。）</li> <li>⑥ 医療法人 仁善会 田中クリニック（大阪）の NK 細胞療法(PC5160024)再生医療等提供状況定期報告について</li> </ol>

	<p>適（全員一致）（審査の結果、提供する再生医療等の安全性および科学的妥当性に、問題はないと結論づけられたため。）</p> <p>⑦ 医療法人 仁善会 田中クリニック（大阪）の HITV 療法(PC5160025)再生医療等提供状況定期報告について  適（全員一致）（審査の結果、提供する再生医療等の安全性および科学的妥当性に、問題はないと結論づけられたため。）</p> <p>⑧ 医療法人社団寿会 永山医院（広島）の HITV 療法(PC6160008)再生医療等提供状況定期報告について  当該再生医療等の継続を適とする（全員一致）（提供する再生医療等の安全性および科学的妥当性に問題ないと結論づけた医師の報告は、適切に報告がされていたため。）</p>
備考	特になし